

攝津電機工業株式会社

2018年度環境活動レポート

(対象期間：2018年4月1日 ～ 2019年3月31日)



作成日：2019年5月8日

環境方針

当社は、「顧客に価値あるものを提供する」ことにより社会に貢献し、企業として持続的に発展することを目的とする。

当社の事業活動である配電盤・制御盤の設計製作および電気工事事業において、地域ならびに地球環境に与える影響を常に考慮し、積極的に環境経営に取り組み、環境負荷の継続的な削減に取り組むことを、当社の使命とする。

この使命を果たすために、当社は以下の行動指針に従って環境改善活動を行う。

1. 事業活動の全領域において、環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する。
2. 環境関連における法律、規制、規程および顧客要求を順守する。
3. 社員一人ひとりが自己啓発し、環境保全行動を実施する。
4. 環境改善目標を定め、環境負荷の低減を継続的に取り組み、活動結果を公表する。

①CO2排出量削減

②エネルギー使用量低減

③廃棄物排出量削減

④総排水量の削減

⑤グリーン購入の推進

⑥製品・サービスへの環境配慮

⑦コピー紙の削減

⑧化学物質の適正管理

制定日：2016年4月1日

改定日：2018年7月2日

代表取締役 賀内 一彦

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

攝津電機工業株式会社
代表取締役 賀内 一彦

(2) 所在地

本社 大阪府箕面市稲六丁目2番1号
大阪支店 大阪市西区江戸堀一丁目2番35号
神戸支店 神戸市中央区八幡通三丁目2番5号
川西工場 兵庫県川西市石道久保ノ上166番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役統括部長 阪田 圭司 TEL : 072-729-2341
担当者 経営管理室リーダー 倉橋 清至 TEL : 072-727-7151

(4) 事業内容

配電盤・制御盤の設計・製造管理
電気機器の据え付け工事管理

(5) 事業の規模

売上高 17億7千万円

	本社	大阪支店	神戸支店	川西工場	合計
従業員	45	4	2	0	51
延べ床面積	1880.56	39.68	44.21	444.57	1964.45

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 攝津電機工業株式会社
対象事業所： 本社

対象外： 大阪支店 2019年に拡大予定
神戸支店 2019年に拡大予定
川西工場 2021年に拡大予定

活動： 配電盤・制御盤の設計・製造管理
電気機器の据え付け工事管理

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	118,421	123,600	100,944
廃棄物排出量	kg	23,179	23,798	14,329
一般廃棄物排出量	kg	3,600	3,579	2,861
産業廃棄物排出量	kg	19,579	20,220	11,468
総排水量	m ³	1,263	1,551	1,357

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.522 kg-CO₂/kWh(関西電力の2013年度実排出係数)

(なお、二酸化炭素総排出量には、LPG及び灯油に由来するものを含む)

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2018年		2019年	2020年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	49,600	47,616	49,002	47,120	46,624
	基準年比	2015年	96%	99%	95%	94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	62,827	62,827	49,712	61,571	60,942
	基準年比	2015年	100%	79%	98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	112,427	110,443	98,714	108,691	107,566
一般廃棄物の削減	kg	3,600	3,348	2,861	3,240	3,060
	基準年比	2015年	93%	79%	90%	85%
水道水の削減	m ³	821	821	1,357	780	755
	基準年比	2015年	100%	165%	95%	92%
コピー紙の削減	枚数	634,500	634,500	545,000	621,810	609,120
	基準年比	2016年	100%	86%	98%	96%
グリーン購入の推進	%	—	—	実態把握	30%	40%
製品・サービスへの環境配慮	—	—	実態把握	実態把握	目標設定	目標設定

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	昨年実施した工場内照明LED化の効果か基準年より使用電力を削減することは出来た。ただ目標に届いていないので更なる省電力化措置を講ずる必要がある。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・残業内容の部門FBによる業務指導強化	△	
・作業改善・業務改善の推進(部門別活動計画書で運用)	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	今年度は遠方での長期工事案件が少なく、走行距離が低下したことによりガソリンの使用量を削減できた。次年度は不要な車両の使用を控えるなど引き続き走行距離の削減を目指していく。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	△	
・エコ運転の推奨	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	各種会議等での紙での書類配布をやめ、電子的に配布することで排出量を削減できた。次年度はシュレッダーごみのリサイクル化を進め排出量を削減する。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	○	
水道水の削減		
数値目標	×	夏にかけて水道の漏水が激しくなり目標を大きく超過してしまった。10月に漏水箇所を修理してからは目標達成水準に落ちているのでこの水準をキープしていく。
・節水シールの貼り付けとポスター掲	○	
・節水弁取り付け	×	
・蛇口ボタ漏れ修理	○	
コピー紙の削減		
数値目標	○	一部裏紙の使用を取りやめたことにより使用率が低下した。ただし紙の購入枚数は大型工事が少なかったことや会議書類の電子化により削減できた。次年度は書類の電子化推進により使用量の削減を図る。
・ペーパーレス(会議資料、議事録)	○	
・裏紙の利用	○	
カウントと紙の購入量から裏紙使用率を出す	○	
グリーン購入の推進		
数値目標		エコタイヤは導入時全車装着済み。グリーン購入については計画が進んでいないので来期計画の見直しを行う。
・エコタイヤの購入	○	
次期入替車から契約に組入れる 環境ラベル認定製品の優先購入	△	
製品・サービスへの環境配慮		
数値目標		担当者退職につき進捗なし。設計部・製造部に対応を求める。
・省エネ機器の採用	△	
・再生資源の利用	△	
・省資源設計の提案(既成BOXの利用)	△	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。**

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）、水銀使用製品廃棄物
騒音・振動規制法	該当なし
フロン排出抑制法	業務用空調機、
消防法	灯油（届出不要範囲内）
顧客要求事項	物件毎に対応（RoHS、非塩素系被覆電線等）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等はこれまでありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し
改善活動の成果が出てきている。
社内周知を強化し、全社活動を実施していく。

□環境活動の紹介

会社周辺を清掃しています。

弊社では月の第一営業日の8:30～9:00の間、社内清掃を実施しておりますが、環境美化の一環として、会社が面する道路にまで範囲を広げ、おもに吸殻やポイ捨てゴミを拾っています。
昨年、周辺清掃を始めたときは、会社敷地境界付近から多量のゴミを集めました、最近では落ち着き、拾うゴミの量も大きく減りました。
今後も周辺清掃を続け、環境を維持して行きたいと考えております。

